

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（スカイブルー）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりと合わせて、様々なプログラムを行っています。また、集団の中で発達に合わせて個別の関わり行っています。	職員同士で毎日話をして、一日のプログラムを決めています。一人ひとり丁寧にアセスメントを行って、個別の対応も職員間で話し合っていて決めています。	年齢や発達状況など様々な子どもがいるので、みんなが参加できる集団活動などを工夫していきます。
2	障害特性を理解して場面の構造化を行っています。はじめとわかりが子どもたちにわかるように、一日のスケジュールを決めて子どもたちにもわかりやすく説明しています。	一日のスケジュールを決めて、子どもたちが見通しをもって活動に参加できるように一人ひとりセットアップしています。	プログラムが固定化しないように、教材や活動をさらに工夫していきます。
3	家族支援では、面談だけでなく、保護者の本音に目を向けて、育児の不安や負担を聞いています。	グループカウンセリングや学習会、個別面談などを行い、保護者の本音を聞く機会をたくさん作っています。	参加できない保護者にも、送迎時や電話、メール等で小まめに連絡をとって、気さくに関わっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもたちとの交流が少ないです。	コロナ禍以降、感染症に敏感な保護者もあり、地域での交流が減ってきています。	地域の公園や公共の場ではなるべく地域の子もたちも一緒に関わられる遊びを取り入れています。
2			
3			